

## 学校長あいさつ

校長の中西寿彦（なかにし としひこ）です。

私は本校に教頭として赴任し、長きにわたって本校で保護者の皆様、そして地域の皆様とともに生徒たちを見守り、学校教育活動に取り組んできました。同時に私自身がこの地域で皆様に育てられたという思いが強く、ますます学校運営にも力が入ります。

さて、私は校長就任に当たり、学校運営の柱として「学校の原点に帰る」というテーマを掲げました。

昨今、報道でも話題になっていますように、学校現場は様々な課題を抱えています。旧来のやり方や前年踏襲をベースにした学校運営では、もはや生徒や保護者、地域のニーズにこたえられないと思うことが多々あります。今一度、「学校とは何か」を見直し、原点に立ち返る必要があると感じるわけです。

私は学校の原点について、あるいは学校とはどのような場であるかについて、3つの視点で考えてみました。

### 1. 学びの場

「日々の学習では、自分を他者と比較せず、自身の手ごたえや達成感を積み重ねる。それが学ぶということ。」

### 2. 経験の場

「自分の役割を理解し、自分の意志と判断で役割を果たす。そうすることで全体としての成功体験と自らの成功体験と一致させる。」

### 3. 成長の場

「身体も心も大きく、豊かな人になってほしいと、子どもの成長を我がことのように喜ぶ人たちに見守られている。そのことに気付ける人になってほしい。」

今後、すべての教育活動についてこの3つの視点に結びついているかどうかを検証し、子どもたちにとって実のある教育活動をおこないます。そして、すべての生徒が「学校は楽しい！」と思える、そんな学校をめざします。